

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

18381

バス路線維持対策事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	1	コンパクトシティの実現
施策	2	公共交通体系の充実
取組方針	3	公共交通機関の維持・充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画費		
	目	交通政策費		
	大事業	交通政策事業		
中事業	バス路線維持対策事業			

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地域公共交通網形成計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	交通政策課	大畑 敦義 435-1016
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	地域住民の生活手段として重要なバス路線の維持を図る。		車社会化や人口減少などから、地方都市では廃止（廃止対象）となるバス路線が増加しているが、バス路線は、市民の移動手段として非常に重要なものであり、特に車を持たない学生や高齢者等にとってはなくてはならない移動手段である。そのような中、維持困難な路線への補助、地域が主体となる地域バス等の運行導入に対する支援を行うことで移動手段の確保を図る。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	○生活交通路線の維持（坂田線、岡崎線、木の本線、那賀線）○地域バス（紀三井寺団地線）への支援、地域バス導入検討○デマンド型乗合タクシーへの支援（加太地区）、デマンド型乗合タクシー導入検討○ICカードシステムの導入に対する支援○利用啓発	○生活交通路線の維持（坂田線、岡崎線）○地域バス（紀三井寺団地線）への支援、地域バス導入検討○デマンド型乗合タクシーへの支援（加太地区）、デマンド型乗合タクシー導入検討○利用啓発	○生活交通路線の維持（坂田線）○地域バス（紀三井寺団地線）への支援、地域バス導入検討○デマンド型乗合タクシーへの支援（加太地区）、デマンド型乗合タクシー導入検討○利用啓発	○生活交通路線の維持（坂田線）○地域バス（紀三井寺団地線）への支援、地域バス導入検討○デマンド型乗合タクシーへの支援（加太地区）、デマンド型乗合タクシー導入検討○利用啓発	○生活交通路線の維持（坂田線）○地域バス（紀三井寺団地線）への支援、地域バス導入検討○デマンド型乗合タクシーへの支援（加太地区）、デマンド型乗合タクシー導入検討○利用啓発	○生活交通路線の維持（坂田線）○地域バス（紀三井寺団地線）への支援、地域バス導入検討○デマンド型乗合タクシーへの支援（加太地区）、デマンド型乗合タクシー導入検討○利用啓発

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	62,252	61,085	43,210	32,575	19,745	53,297	19,402	0	19,402	0
伸び率（%）	0%	0%	△30.6%	△46.7%	△54.3%	63.6%	△1.7%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	15,706	13,934	13,775	14,571	15,127	14,273	14,972	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	15,706	13,934	13,775	14,571	15,127	14,273	14,972	0	0
国庫支出金	0	0	11,793	10,719	0	31,914	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	62,252	61,085	31,417	21,856	19,745	21,383	19,402	0	19,402	0
所要人数（人）	正規職員	1.95	1.73	1.73	1.83	1.95	1.84	1.93	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	旅費25千円、消耗品費74千円、自動車修繕料100千円、補助金19,546千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
補助対象路線	路線	回	目標値	6	3	6	6	6
			実績値	6	3	3		
			達成度(%)	100%	100%	50%	%	%
利用啓発回数	回	回	目標値	7	7	7	7	7
			実績値	6	5	5		
			達成度(%)	85.7%	71.4%	71.4%	%	%
全体路線数（和歌山バス+和歌山バス那賀+地域バス+デマンド型乗合タクシー）	路線	回	目標値	26	26	25	25	25
			実績値	24	21	21		
			達成度(%)	92.3%	80.8%	84.0%	%	%
年間輸送人員（和歌山バス+和歌山バス那賀+地域バス+デマンド型乗合タクシー）	人	回	目標値	8,491,859	8,508,608	8,525,358	8,542,107	8,558,856
			実績値	8,246,830	4,491,974	4,958,257		
			達成度(%)	97.1%	52.8%	58.2%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>車社会化や人口減少などから、近年、地方都市では廃止（廃止対象）となるバス路線が増加しているが、バス路線は、市民の移動手段として、非常に重要なものであり、特に車を持たない学生や高齢者等にとってはなくてはならない移動手段であり、その確保が課題となっている。そのような中、民間事業者で維持困難な路線への補助、地域が主体となる地域バス及びデマンド型乗合タクシーの運行導入に対する支援を行うことで、移動手段の確保が図れる。</p>
見直し・改善内容	<p>現在、赤字バス路線の維持や地域バス導入に対する支援、また利用啓発等を行っているが、近年、廃止や減便となるバス路線も増加傾向にあり、今後は住民ニーズの把握に努めるとともにバス事業者と協議を行い、バス路線の見直しや再編を図っていく必要がある。</p>